



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年7月28日

上場取引所 東

上場会社名 第一工業製薬株式会社

コード番号 4461 URL <http://www.dks-web.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 坂本 隆司

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務本部長 (氏名) 浦山 勇 TEL 075-323-5955

四半期報告書提出予定日 平成28年8月9日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	12,697	△6.8	633	△8.6	554	△15.2	323	△15.5
28年3月期第1四半期	13,630	0.1	692	11.9	654	16.7	383	5.8

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △41百万円 (－%) 28年3月期第1四半期 583百万円 (41.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	6.12	6.12
28年3月期第1四半期	7.26	7.25

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	63,980	26,142	39.2	474.64
28年3月期	66,057	26,745	38.8	485.05

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 25,087百万円 28年3月期 25,637百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	28,500	5.1	1,600	△0.1	1,500	△1.0	900	△10.3	17.03
通期	60,900	15.4	3,400	△1.1	3,150	△1.6	2,150	△2.2	40.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期1Q	53,421,609株	28年3月期	53,421,609株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	565,876株	28年3月期	565,876株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期1Q	52,855,733株	28年3月期1Q	52,781,637株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、企業収益の悪化懸念により足踏み状態がみられるものの、雇用環境の改善が続かなかで、緩やかな回復基調が続いております。一方で、英国のEU離脱決定による世界経済への影響や資源国・アジア新興国の景気減速など、海外の懸念材料が景気を下押しするリスクも存在しております。

化学業界におきましては、基礎原料ナフサ価格は低水準で推移していますが、中東情勢の混迷、資源国や新興国経済の減速懸念など、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループの5ヵ年経営計画「REACT1000－飛躍への行動を－」は第二年度に入りました。初年度は国内の新拠点として、四日市第三コンビナート内に新たに建設した霞工場が12月に本格稼働し、電子材料、土木用薬剤を中心に増産体制が整いました。今年度は、売上高拡大の取り組みを強化するとともに、霞工場のマザー工場化を加速・充実させ、さらに、シンガポールの新会社を起点に国際展開を進めてまいります。

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は126億97百万円（前年同四半期比6.8%減）、営業利益は6億33百万円（前年同四半期比8.6%減）、経常利益は5億54百万円（前年同四半期比15.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億23百万円（前年同四半期比15.5%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<界面活性剤>

界面活性剤の売上高は、総じて低迷しました。

国内では、IT・電子用途の活性剤は好調に推移しましたが、ナフサ価格の下落の影響を受け機械・金属用途の活性剤は低調に推移し、石鹼・洗剤用途の活性剤は顕著に落ち込みました。

海外では、ゴム・プラスチック用途の活性剤は順調に推移しましたが、塗料・色材用途の活性剤はやや低迷しました。

その結果、当セグメントの売上高は49億52百万円（前年同四半期比8.9%減）、営業利益は3億88百万円（前年同四半期比22.0%減）となりました。

<アメニティ材料>

アメニティ材料の売上高は、総じてやや低迷しました。

国内では、セルロース系高分子材料は飼料用途が堅調に推移しましたが、医薬品用途及び食品用途はやや低調に推移しました。シヨ糖脂肪酸エステルは食品用途がやや低調に推移しました。

海外では、シヨ糖脂肪酸エステルは化粧品用途及び食品用途が堅調に推移しました。

その結果、当セグメントの売上高は16億79百万円（前年同四半期比3.7%減）、営業利益は52百万円（前年同四半期比48.0%減）となりました。

<ウレタン材料>

ウレタン材料の売上高は、総じて好調に推移しました。

フロン規制に関連する環境配慮型の合成潤滑油は、販売数量は伸長しましたが、売上高がナフサ価格の下落の影響を受けやや低調に推移しました。土木用薬剤は公共工事の増加により好調に推移しました。

その結果、当セグメントの売上高は21億47百万円（前年同四半期比1.5%増）、営業損失は37百万円（前年同四半期は31百万円の損失）となりました。

<機能材料>

機能材料の売上高は、総じて大幅に伸長しました。

国内では、水系ウレタン樹脂は繊維用途がやや低調に推移しましたが、難燃剤はゴム・プラスチック用途が好調に推移し、光硬化樹脂用材料はIT・電子用途が大幅に伸長しました。

海外では、水系ウレタン樹脂はIT・電子用途がやや低調に推移しましたが、難燃剤はゴム・プラスチック用途が伸長しました。

その結果、当セグメントの売上高は29億97百万円（前年同四半期比10.9%増）、営業利益は2億42百万円（前年同四半期比145.1%増）となりました。

<電子デバイス材料>

電子デバイス材料の売上高は、総じて顕著に落ち込みました。

射出成形用ペレットは堅調に推移しましたが、太陽電池用途の導電性ペーストは顕著に落ち込みました。

その結果、当セグメントの売上高は9億20百万円(前年同四半期比43.6%減)、営業損失は13百万円(前年同四半期は25百万円の利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ20億77百万円減少し、639億80百万円となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金が1億87百万円、連結子会社である四日市合成株式会社におけるウレタン材料製造設備の建設等により有形固定資産の合計が5億61百万円増加しましたが、現金及び預金が19億27百万円、商品及び製品などのたな卸資産の合計が7億38百万円、株価下落により投資有価証券が2億46百万円減少したことなどによるものです。

負債は、前連結会計年度末と比べ14億73百万円減少し、378億38百万円となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金が7億84百万円、未払法人税等が3億85百万円、長期借入金が10億40百万円減少したことなどによるものです。

純資産は、前連結会計年度末と比べ6億3百万円減少し、261億42百万円となりました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益3億23百万円を計上しましたが、配当金の支払い5億28百万円により利益剰余金が2億5百万円減少し、加えて、株価下落によりその他有価証券評価差額金が2億29百万円、為替換算調整勘定が1億11百万円減少したことなどによるものです。

また、自己資本比率は、前連結会計年度末と比べて0.4ポイント改善し39.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年4月27日付で公表いたしました通期の連結業績予想からの変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,401	7,474
受取手形及び売掛金	13,253	13,440
商品及び製品	7,069	6,374
仕掛品	41	39
原材料及び貯蔵品	1,689	1,649
前払費用	234	252
繰延税金資産	332	304
その他	1,991	2,070
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	34,007	31,598
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,980	9,883
機械装置及び運搬具（純額）	3,922	3,721
工具、器具及び備品（純額）	400	394
土地	9,436	9,301
リース資産（純額）	821	774
建設仮勘定	2,596	3,644
有形固定資産合計	27,158	27,720
無形固定資産	548	505
投資その他の資産		
投資有価証券	3,263	3,016
長期貸付金	25	24
長期前払費用	380	355
繰延税金資産	44	44
退職給付に係る資産	138	163
その他	497	557
貸倒引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	4,343	4,156
固定資産合計	32,050	32,382
資産合計	66,057	63,980

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,250	9,465
短期借入金	8,312	8,361
リース債務	345	326
未払法人税等	545	159
賞与引当金	567	401
役員賞与引当金	16	—
未払事業所税	33	8
未払費用	228	259
繰延税金負債	0	0
その他	2,001	2,968
流動負債合計	22,300	21,951
固定負債		
長期借入金	14,915	13,875
リース債務	1,044	974
繰延税金負債	265	291
退職給付に係る負債	416	378
資産除去債務	72	72
その他	297	294
固定負債合計	17,011	15,886
負債合計	39,312	37,838
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,895	8,895
資本剰余金	7,228	7,228
利益剰余金	9,339	9,134
自己株式	△149	△149
株主資本合計	25,313	25,108
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△161	△391
繰延ヘッジ損益	△9	△7
為替換算調整勘定	301	190
退職給付に係る調整累計額	193	186
その他の包括利益累計額合計	324	△21
新株予約権	7	7
非支配株主持分	1,100	1,047
純資産合計	26,745	26,142
負債純資産合計	66,057	63,980

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	13,630	12,697
売上原価	10,581	9,655
売上総利益	3,048	3,041
販売費及び一般管理費	2,355	2,408
営業利益	692	633
営業外収益		
受取利息	3	0
受取配当金	2	2
持分法による投資利益	21	23
為替差益	16	-
その他	18	16
営業外収益合計	63	42
営業外費用		
支払利息	73	70
その他	28	50
営業外費用合計	102	120
経常利益	654	554
特別損失		
固定資産処分損	24	41
特別損失合計	24	41
税金等調整前四半期純利益	629	513
法人税、住民税及び事業税	150	114
法人税等調整額	77	53
法人税等合計	228	167
四半期純利益	401	345
非支配株主に帰属する四半期純利益	18	22
親会社株主に帰属する四半期純利益	383	323

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	401	345
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	186	△229
繰延ヘッジ損益	1	1
為替換算調整勘定	1	△129
退職給付に係る調整額	△8	△6
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△23
その他の包括利益合計	182	△387
四半期包括利益	583	△41
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	555	△22
非支配株主に係る四半期包括利益	28	△19

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	界面活性剤	アメニティ材料	ウレタン材料	機能材料	電子デバイス材料	合計
売上高						
外部顧客への売上高	5,436	1,743	2,115	2,703	1,631	13,630
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,436	1,743	2,115	2,703	1,631	13,630
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は営業損失)	498	101	△31	98	25	692

(注) 報告セグメント利益の合計金額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

「会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更」に記載のとおり、有形固定資産の減価償却方法については、従来、当社及び国内連結子会社の一部の固定資産において定率法（ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）については定額法）を採用しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より有形固定資産の減価償却方法を定額法に変更しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、第1四半期連結累計期間のセグメント利益が、「界面活性剤」で14百万円、「アメニティ材料」で0百万円、「機能材料」で1百万円、「電子デバイス材料」で2百万円それぞれ増加し、セグメント損失が「ウレタン材料」で2百万円減少しております。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	界面活性剤	アメニティ材料	ウレタン材料	機能材料	電子デバイス材料	合計
売上高						
外部顧客への売上高	4,952	1,679	2,147	2,997	920	12,697
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,952	1,679	2,147	2,997	920	12,697
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は営業損失)	388	52	△37	242	△13	633

(注) 報告セグメント利益の合計金額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。